

# I 法人本部

## 1. 基本方針及び基本理念

1997年法人設立当初より掲げてきた、自然との共生を目指し、ものづくりひとすじの思いを土台とした法人運営を行ってきた。

### ～ 基本理念 ～

- ・ 私たちは、自然との共生・地球環境の保全に寄与し、資源の循環を目指します
- ・ 私たちは、自然の中に生かされていることを自覚し、地域とともに、共生社会の発展に努めます
- ・ 私たちは、利用者さんの自己実現のために、一人ひとりにしっかり寄り添い、声なき声をくみ取ります
- ・ 私たちは、職員一人ひとりが法人の一員であることを自覚し、社会人として常に研鑽を積んでいきます

———— 平成28年2月25日制定 ————

## 2. 令和3年度 重点取り組み事項

### (1) 社会福祉法人遠江学園中期経営計画の進捗状況 (2020年度～2024年度)

令和2年度に策定した中期経営計画の進捗状況は、達成できた項目は約70%、課題は若干残っているが概ね達成を含めると94.2%の達成。次年度にむけて、順調に推移している。  
(別紙参照)

詳細については、事業所毎、事業報告として掲載。

### (2) 障害者虐待防止対策の強化

障害者の虐待はその尊厳を害するものであり、障害者の自立と社会参加にとって虐待の防止を図ることは極めて重要であることから、令和4年度からの義務化向け虐待防止対応規程を制定し委員会設置、職員研修等障害者虐待防止の更なる推進に努めた。

### (3) 感染症対策について

新型コロナウイルス感染症対策を含めた事業継続計画(BCP)を作成し緊急時の災害等にも備えた。

### (4) 実習農園(ひくまのファーム)の取得に向けて

柿園(借地)の返還に伴い新たに実習農園を探していたが、このたび、下記農地等を借りることができ、令和2年9月28日貸主山村知子、柄澤公彦と使用貸借契約を締結した。また、運営については、(株)和光アグリパートナーの協力を得て作物の栽培・販売等の指導を受け小麦等の栽培に取り組んでいる。令和4年10月頃には当該農地等の売買契約を取り交わす運びになっている。(令和4年度当初予算に計上)

#### [農地等の概要]

所在地	地目	地積 (㎡)
浜松市西区細江町中川 7172-162	畑	1,553
〃 7172-2043	畑	560
浜松市北区根洗町 509	畑	349
〃 508-3	雑種地	293

### 3. 評議員会・理事会等

#### (1) 評議員会（1回）

開催月日	出席者数	審議事項
令和3年6月11日	評議員 6名 理事 2名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決議事項               <ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度計算書類（貸借対照表及び収支計算書）</li> <li>附属明細書並びに財産目録の承認の件</li> <li>定款変更の件</li> <li>（福）遠江学園新役員（理事、監事）の選任の承認の件</li> </ul> </li> <li>・報告事項               <ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度事業報告の件</li> </ul> </li> </ul>

#### (2) 理事会（5回）

開催月日	出席者数	審議事項
令和3年5月27日 第1回	理事 5名 監事 2名	<p>決議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度事業報告</li> <li>・令和2年度計算書類、附属明細書及び財産目録承認</li> <li>・定時評議員会招集について</li> <li>・新役員候補者決定について</li> <li>・評議員選任・解任委員会委員の選任について</li> </ul> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理事長及び業務執行理事の職務執行状況の報告</li> <li>・評議員選任・解任委員会の報告について</li> </ul>
令和3年6月11日 第2回	理事 7名 監事 2名	<p>決議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理事長選任について</li> <li>・業務執行理事選任について</li> </ul>
令和3年9月27日 第3回 決議の省略	理事 7名 監事 2名	<p>社会福祉法第45条の14第9項が準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条及び定款第26条に基づく理事会の決議の省略</p> <p>決議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度第一次補正予算について</li> </ul>
令和3年12月14日 第4回	理事 7名 監事 2名	<p>決議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度第二次補正予算</li> <li>・虐待防止対応規程の制定</li> <li>・ひくまのほか4事業所の運営規程の改正について</li> </ul> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上半期事業報告について</li> </ul>
令和4年3月22日 第5回	理事 6名 監事 2名	<p>決議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度第三次補正予算</li> <li>・令和4年度事業計画、当初予算について</li> <li>・給与規程の改正について</li> <li>・準職員・無期転換後準職員就業規程の改正について</li> <li>・公印管理規程の制定</li> <li>・文書管理規程の制定</li> <li>・施設長人事について</li> </ul>

(3) 監事監査（業務執行状況、及び財産の状況を監査）

開催月日	種別	監査項目
令和3年5月19日	決算監査	・令和2年度事業報告書 ・令和2年度計算書類及びその附属明細書並びに財産目録
令和3年11月17日	定期監査	・令和3年度中間(令和3年4月～令和3年9月)業務監査・会計監査

(4) 会計事務所による月次指導

開催月日	内 容
毎月1回	・会計処理業務の指導及び経営支援

(5) 浜松市による社会福祉施設等の指導監査（法人監査）

開催日時	指 導 項 目
	なし

4. 会議・研修等

(1) 内部会議

会 議	実施（曜）日	参 加 者
運営会議	月1回	理事長、園長、事務長
企画会議	第2火曜日	園長、事務長、主任
工賃評定会議	半年に1回・適宜	園長、サービス管理責任者、主任
職員会議	毎月1回 毎朝(15分)、毎夕(15分)	全 員
支援会議	2か月に1回・適宜	全 員

(2) 内部研修

研 修 名	内 容
自己啓発研修	・業務の振り返りチェックシートを使用して自己啓発につとめた。
内部研修会	・オンライン研修サービス「サポーターズカレッジ」を使用して希望するテーマ別研修を3回実施した。
年度末職員研修	・法人理念についての講話。 ・職員の研修報告。 ・令和4年度事業計画・会計予算、授産事業のまとめ、中期経営計画の検証と見直し。
個別支援研修	・事業所毎に研修計画を立て、年間6～12回実施。 支援への共通認識を深め、相談しやすい職場づくりも兼ねた。

(3) 外部会議

- ・管理部門研修： 新型コロナの影響でほとんど中止。
- ・キャリアアップ研修： 年間13回の研修に、施設長・サビ管他、16人が参加（リモート研修）

## 5. 施設運営

### (1) 施設の概要

(令和4年3月31日現在)

名称	ひくまの		みなみ	まつかさ	やしま		あかね	
種類	生活介護	就労継続支援 B型	就労継続支援 B型	就労継続支援B 型	共同生活 援助	短期 入所	共同生活 援助	短期入所
利用定員	15	40	25	20	7	1	7	1
在籍数	16	47	29	20	7	—	7	—

### (2) 施設整備及び主な修繕（100万円を超えるもの）

#### ①施設整備

なし

#### ②主な修繕

なし

## 6. 職員構成

(令和4年3月31日現在)

施設等 職種	多機能型事業所 「ひくまの」		就労継続支援B型 「みなみ」	就労継続支援B型 「まつかさ」	共同生活援助 「やしま」	共同生活援助 ・短期入所 「あかね」	計
	就労B	生活介護					
管理者	1		1	1	1(兼)	1	4
嘱託医		1 (1)					1 (1)
サービス管理責任者	1	1	1	1(兼)	1(兼)	1(兼)	3
職業指導員	4 (1)		3 (1)	3			10 (2)
生活支援員	6 (3)	4 (1)	4 (4)	1 (1)	4(兼2) (2)	3(兼1) (2)	18 (13)
看護師		2(兼1) (1)					2 (1)
世話人					6(兼1) (5)	5 (5)	11 (11)
事務員	2 (1)						0
運転手			3 (3)				2 (2)
計	21 (8)		12 (8)	5 (1)	7 (7)	7 (6)	52 (30)

※（ ）内の数字は準職員の人数で再掲。 ※ 産休・育休の職員は含まれていない。

## 7. 主な年間共通行事

実施日	行 事 名
令和3年6月18日 令和4年1月12日	・家族会総会 書面総会 ・新成人を励ますつどい（みなみ2名）

## Ⅱ ひくまの（多機能型事業所）

### 1. 施設運営

#### (1) 生活介護事業

日常生活に必要な食事、整容、排泄等の介護や働くこと、創作活動などの機会を日中活動の中で提供し、「スマイル」の通称のように利用者の喜びや自己実現を活動を通じて支援し、また、個別支援計画に沿い、きめ細やかな支援を提供した。

本館2階を主会場としてスマイル独自の独立した活動を意識して展開し、利用者の意思決定を大切にしながら日中活動を提供してきた。また生産活動では、スマイル独自の商品を積極的に開発し、販売等につなげてきた。

新型コロナウイルス感染症等への対策として、清潔な環境を整え、手洗い、手指消毒、検温を行い、感染予防に努めた。

#### (2) 就労継続支援事業（B型）

働く場として就労の機会を提供し、利用者の働く喜びが保障され、働く力、人として生きていく力が備わるよう個別支援計画に沿い、きめ細やかな支援を提供した。

作業内容は、小規模多機能の形態を維持し、利用者の意思決定が毎日の生活や活動に充分反映されるような日中活動を展開した。

就労継続支援事業所として、新たに「働く」という視点を重要視し、工賃向上も視野に入れた支援体制を目指し、障害の特性に合わせた個別支援体制も充実させてきた。

新型コロナウイルス感染症への対策として、清潔な環境を整え、手洗い、手指消毒、検温を行い、感染予防に努めた。

### 2. 中期経営計画（別紙）

### 3. 施設利用状況

#### (1) 生活介護（定員15名）

項 目		単位	令和3年度 実績	令和2年度 実績	令和元年度 実績
施設利用状況	開所日数	日	258	259	258
	契約者数	人	16	17	17
	延べ人数	人	3,840	4,074	4,015
	1日平均	人	14.9	15.7	15.6
	利用率	%	99.2	104.8	103.7

#### ・利用者の状況（令和4年3月31日現在）

地域別	浜 松 市							磐田市	掛川市	湖西市	合 計		
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区				男	女	
	1	1	2	6	4	0	0	0	0	2	16		
年齢別	18歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 以上	性別	男	女			
	0	4	6	4	2	0	0	10	6				
障害支援 区分別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均支援区分	未判定					
	2	4	10	0	0	0	4.5	0					
手帳所持別	身体障害者手帳						療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複 所持	手帳 なし
	1級	2級	3級	4級	5級以上	A	B	1級	2級	3級			
	0	1	1	0	0	15	1	0	0	1			

(2) 【就労継続支援B型】 (定員40名)

項 目		単位	令和3年度 実績	令和2年度 実績	令和元年度 実績
施設利用状況	開所日数	日	258	259	258
	契約者数	人	47	46	46
	延べ人数	人	10,993	10,737	11,251
	1日平均	人	42.6	41.4	43.4
	利用率	%	106.5	103.6	108.6

・利用者の状況 (令和4年3月31日現在)

地域別	浜 松 市							磐田市	掛川市	湖西市	合 計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区				性別	男
年 齢 別	18歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 以上	性別	男	女		
	1	15	14	7	7	2	1				28	19
障害支援 区 分 別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均支援区分	未判定			47	
	1	1	11	14	8	0	3.2					12
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複 所持	手帳 なし
	1級	2級	3級	4級	5級以上	A	B	1級	2級	3級		
	1		0	0	1	26	20	0	0	0		

4. 就労支援事業

(1) 生活介護(スマイル)：全体

(単位：円)

事 業	令和3年度収入	令和2年度収入	差 額
自主作業	58,320	25,400	32,920
下請作業	183,879	171,684	12,195
合 計	242,199	197,084	45,115

①自主作業

(単位：円)

作業種目	令和3年度収入	令和2年度収入	差 額
果樹園芸	50,720	17,350	33,370
染織縫製	7,600	8,050	△450
合 計	58,320	25,400	32,920

(2) 就労継続支援B型：全体

(単位：円)

事 業	令和3年度収入	令和2年度収入	差 額
自主作業	3,246,980	3,328,763	△81,783
下請作業	9,946,757	9,083,265	863,492
合 計	13,193,737	12,412,028	781,709

## ①自主作業

(単位：円)

作業種目	令和3年度収入	令和2年度収入	差 額
果樹園芸	1,306,480	1,129,701	176,779
染織縫製	254,115	758,704	△504,589
食品科	1,686,385	1,440,358	246,027
合 計	3,246,980	3,328,763	△81,783

## ②受託作業

(単位：円)

作業種目	令和3年度収入	令和2年度収入	差 額
施設外就労	7,421,064	6,485,935	935,129
優先調達関連作業	416,900	480,800	△63,900
下請作業	2,070,138	2,081,807	△11,669
その他販売手数料	38,655	34,723	3,932
合 計	9,946,757	9,083,265	863,492

## 5. 工賃実績

## (1) 生活介護事業：月別

(単位：円)

工 賃	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
総支給額	14,240	26,830	20,840	11,050	20,380	10,260	23,530	17,020	38,770	11,930	17,870	60,880	273,600	196,950
月額最高額	1,290	2,610	1,950	1,030	1,950	940	2,290	1,740	2,570	1,100	1,670	4,705	1,987	1,397
月額最低額	200	200	200	200	200	420	890	600	2,260	330	660	3,070	769	599
月平均額	838	1,578	1,226	650	1,199	641	1,471	1,064	2,423	746	1,117	3,805	1,397	966

※令和3年12月は賞与（一律2,000円、計¥32,000）、令和4年3月は年度末手当（一律2,000円、計¥32,000）を含む。

※工賃支給対象者に、年度途中入所者、及び退所者、入院中の利用者も含む。

## (2) 就労継続支援B型事業：月別

(単位：円)

工 賃	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
総支給額	719,630	679,880	699,740	699,760	729,820	729,910	759,820	829,790	1,299,880	849,700	949,410	1,297,740	10,247,080	9,107,500
月額最高額	34,970	32,670	34,160	33,940	36,530	37,860	39,150	43,990	52,740	44,400	49,410	69,120	42,404	38,052
月額最低額	4,230	6,920	7,340	7,730	4,320	4,880	4,360	6,310	13,090	5,400	2,700	10,990	6,522	4,682
月平均額	15,311	14,466	14,888	14,889	15,528	15,530	16,166	17,655	27,657	18,079	20,209	28,429	18,234	16,364

※令和3年12月は賞与（一律10,000円、計¥470,000）令和4年3月年度末手当（作業量に応じて、計¥370,000）を含む。

※工賃支給対象者に、年度途中入所者、及び退所者、入院中の利用者も含む。

## 6. 生活支援

## (1) クラブ活動

クラブ名	講 師	参加人員	備 考
卓球クラブ	木村由美子、小林利到子	8名	毎月1回実施
アートクラブ	職 員	9名	毎月1回実施

ダンスクラブ	ヒロタツダンスシティ	7名	毎月1回実施
アクティブクラブ	職員	8名	毎月1回実施
パラスポーツクラブ	職員	7名	毎月1回実施
美味しんぼクラブ	職員	6名	毎月1回実施

- ・活動写真を利用して利用者さんが希望したクラブで楽しく活動した。卓球クラブ、パラスポーツクラブは新型コロナウイルスの影響でわかふじスポーツ大会は中止となり不参加であった。
- ・スマイルでは、新型コロナウイルスの影響で愛護ギャラリー展などへの出展はできなかったが、アートクラブ、ウォーキングクラブ、音楽クラブなどの活動を継続して行った。

## (2) 茶話会

毎月1回（毎月第4金曜日）に、工賃分配及び誕生会、話し合い、レクリエーション等を行った。

利用者の親睦及び利用者の意見交換の場として大切に位置づけてきた。その月の誕生者には、今年度はくるみ共同作業所の「ネーム入りポン煎餅」をプレゼントし、全員でお祝いをした。

秋の旅行は今年度も新型コロナウイルスの影響の為に中止となったが、代替えとして仕出しの昼食をみんなで一緒に食べ、午後はカラオケやドライブなどのレクリエーションを実施した。

## 7. 災害防止対策

学園内の事故防止、通園途中の交通事故防止についての指導をその都度実施した。

また火災、地震を想定した防災訓練を3ヶ月に1回実施し、合わせて防災設備の自主点検を行った。

実施日	訓練種目	参加者	発生時刻	内 容
令和3年 7/9 (金)	火災避難 通報訓練 初期消火	利用者 48人 職員 15人 63人	14時00分	・厨房より出火を想定し、消防署への火災発生通報と職員による消火器での初期消火を実施する。
9/21 (火)	地震避難	利用者 57人 職員 16人 73人	14時00分	・午後の作業中に地震が発生。作業を内外複数の場所で行っていることを想定し、迅速な安全確認と誘導を行う。
11/5 (金)	火災避難 水消火器による 消火訓練	利用者 49人 職員 15人 64人	14時00分	・午後の作業中に厨房より出火。水消火器での消火訓練は利用者も率先して体験することができた。
令和4年 3/8 (火)	地震避難	利用者 40人 職員 16人 56人	14時00分	・午後の作業中に地震発生。それぞれの作業場からヘルメットを着用し、利用者の迅速な安全確認と誘導を行う。

## 8. 地域公益事業

### (1) 生活困窮者就労訓練事業の実態

受け入れはなかったが、引き続き自立相談支援機関（生活自立相談支援センター「つながり」）と連携して受け入れ準備をしてきた。



9. 福祉施設実習及び産業現場等における実習

福祉施設実習の受入れは2校、産業現場等における実習の受入れは2校であった。

月	来客者数		見学者数		実習者数		ボランティア数		備考
	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度	
4	4	4	1	4	1	1	7	6	
5	6	3	7		2		8	11	
6	13		6		3		10	11	
7	2	3	2	3	2		8	13	
8	1	4	4	6	2	1	4	5	
9		1	1	4		4	4	7	
10	4	9	1	1		1	5	11	
11	3	5	1		2	3	9	11	
12	1	4	1	3		3	5	12	
1	5			5		1	10	7	
2	4	5				2	6	12	
3	4	11		1			9	6	
計	47	49	24	27	12	16	85	112	

### Ⅲ み な み (就労継続支援B型事業所)

#### 1. 施設運営

- ・事業所が日々明るく楽しい生活の場でなくてはならないという観点を重視し個別支援計画に基づいて本人の希望や家族の思いが充分反映されるよう一人一人にきめ細やかな支援を心がけて活動を行なった。
- ・作業を通じて労働集団の豊かな形成につとめると共に働く場との意識向上につとめた。また、療育的な支援や余暇活動の充実等、総合的な支援を行なった。

#### 2. 中期経営計画 (別紙)

#### 3. 施設利用状況 (定員25名)

項 目		単位	令和3年度 実績	令和2年度 実績	令和元年度 実績
施設利用状況	開所日数	日	258	259	258
	契約者数	人	29(退所2名死亡1名)	29(退所0名)	27(R2.2退所3名)
	延べ人数	人	6,783	6,580	5,843
	1日平均		26.3	25.4	22.6
	利用率	%	105.2	101.6	90.6

#### ・利用者の状況 (令和4年3月31日現在)

地域別	浜 松 市							磐田市	掛川市	湖西市	合 計		
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区				男	女	
	4	1	14	7	3	0	0	0	0	0	29		
年齢別	18歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 以上	性別					
	0	11	7	7	1	1	2		24	5			
障害支援 区分別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均支援区分	未判定					
	7	2	10	6	3	0	4.1	1					
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複 所持	手帳 なし	
	1級	2級	3級	4級	5級以上	A	B	1級	2級	3級			
	3	1	0	0	0	23	6	0	2	1	6	0	

#### 4. 就労支援事業：全体

(単位：円)

事業	令和3年度収入	令和2年度収入	差 額
自主作業	602,957	873,271	△270,314
下請作業	4,700,509	4,155,917	544,592
合 計	5,303,446	5,029,188	274,278

#### ①自主作業

(単位：円)

作業種目	令和3年度収入	令和2年度収入	差 額
果樹園芸	106,140	216,930	△110,790
染織縫製	496,817	656,341	△159,524
合 計	602,957	873,271	△270,314

②受託作業

(単位：円)

作業種目	令和3年度収入	令和2年度収入	差 額
公園環境整備			
清掃作業	4,700,509	4,155,917	544,592
下請作業			
合 計	4,700,509	4,155,917	544,592

5. 工賃実績：全体

(単位：円)

工 賃	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
総支給額	303,480	332,610	382,720	382,660	462,830	413,690	413,660	408,750	533,770	388,270	395,690	401,710	4,819,840	4,461,830
月額最高額	22,710	25,630	30,320	30,720	36,780	35,520	34,900	34,880	39,800	34,560	37,100	35,800	33,227	27,553
月額最低額	1,290	1,340	1,000	1,000	2,270	2,270	2,620	1,900	6,000	1,000	1,300	2,120	2,009	3,971
平均工賃月額	10,465	11,087	13,197	13,195	15,428	13,790	13,789	13,625	18,406	13,389	13,644	13,852	13,654	13,398

※令和3年12月の総支給額は賞与（一律5,000円、¥145,000）を含む。

※工賃支給対象者に、年度途中入所者、及び退所者、入院中の利用者も含む。

6. 生活支援

(1) クラブ活動

利用者の希望を取り入れて、絵画・音楽・書道・手工芸・レクリエーション等のクラブ活動を実施した。

(2) 茶話会

毎月1回茶話会を行い、工賃分配及び誕生会、話し合い、レクリエーション等を行った。利用者の親睦及び意見交換の場として大切に位置づけ、その月の誕生者にはプレゼントを渡し、また皆勤者にはその努力をたたえた。

(3) 社会活動

利用者が楽しく豊かな日常生活を送ることができるように、次のような地域社会の活動等に積極的にとりくんだ。

(4) 健康管理

- ・年1回の聖隷健診センターによる健康診断を実施した。
- ・月1回の体重血圧測定を行った。
- ・新型コロナウイルス感染症防止対策として、これまでのうがい手洗い、手指の消毒以外に換気や室内へのウィルス除去スプレーの散布等、万全の体制を整えて支援した。

## 7. 災害防止対策

実施日	訓練種目	参加者	発生時刻	内 容
令和3年 5/8 (土)	地震 避難訓練	利用者 22名 職員 3名 25名	10時00分	地震発生を想定。机の下にもぐり、職員による安全確認後、ヘルメットを着用し、屋外へ避難した。
7/16 (金)	火災 避難訓練	利用者 26名 職員 5名 31名	10時00分	台所から火災発生を想定。煙への対応として、全員ハンカチで口をおさえる。利用者を安全な場所へ誘導し避難した。
10/2 (土)	不審者 防犯訓練	利用者 23名 職員 3名 26名	10時30分	不審者が建物内に侵入したことを想定で行った。利用者を避難させるとともに、支援者が椅子を使い不審者を確保。警察に通報。(模擬)
11/6 (土)	火災 避難訓練	利用者 24名 職員 2名 26名	10時00分	火災発生を想定。消防署への通報、消火器等による初期消火(模擬)避難指示も出し、屋外へ避難した。
12/4 (土)	地震 防災訓練	利用者 21名 職員 2名 23名	10時00分	地震発生を想定。安全が確認できるまで、机の下にもぐった。その後、防災に関する動画を視聴し、クイズも行った。
令和4年 1/22 (土)	地震 避難訓練	利用者 23名 職員 2名 25名	10時00分	地震発生を想定。机の下にもぐり、職員による安全を確認後、ヘルメットを着用し、屋外へ避難した。

## 8. 地域公益事業

### (1) 生活困窮者就労訓練事業の実態

自立支援機関(生活自立相談支援センター「つながり」)の斡旋に応じて、就労に困難を抱える生活困窮者の受け入れを継続している。

## 9. 福祉施設実習及び産業現場等における実習

職場体験実習の受け入れは3校であった。

月	来客者数		見学者数		実習者数		ボランティア数		備考
	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度	
4	6	8	4	4	1		31	15	
5	16	19		1			3	18	
6	12	22	4	6	1		1	1	
7	18	12		3			4	2	
8	7	18		4			16	11	
9	8	10					11	1	
10	13	9		5			13	7	
11	6	8		3	1	1	11	2	
12	9	11				1	8	13	
1	8	8				1	2	5	
2	9	15		2			8	4	
3	6	24		2	1	2	5	3	
計	118	164	8	30	4	5	113	82	

## IV まつかさ（就労継続支援B型事業所）

### 1. 施設運営

まつかさは、就労継続支援B型事業所として、「働く」という視点を重視し、就労の機会を提供することを心がけてきた。施設外での作業も定着し、多くの利用者さんが施設外の作業を経験することになり、働く力の向上につながった。

本人の希望や家族の思いが十分反映されるよう、面談を随時実施し、きめ細かな支援を心がけてきた。また通勤途中の交通安全と災害時の安全についても配慮し、その確保を行った。

特に令和2年度以降からコロナ禍にあり、令和3年度では、県内にまん延防止等重点措置が発令され市内の感染状況が緊迫した時には、在宅での就労を希望する利用者さんに対しては、在宅支援（テレワーク）を実施した。

### 2. 中期経営計画（別紙）

### 3. 施設利用状況（定員20名）

項 目		単位	令和3年度 実績	令和2年度 実績	令和元年度 実績
施設利用状況	開所日数	日	258	259	258
	契約者数	人	20	20	21
	延べ人数	人	4584	4,444	4699
	1日平均	人	17.8	17.1	18.2
	利用率	%	88.8	85.8	91.1

#### ・利用者の状況（令和4年3月31日現在）

地域別	浜 松 市							磐田市	掛川市	湖西市	合 計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区				男	女
	12	3	1	2	2	0	0	0	0	0	20	
年齢別	18歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 以上	性別	男	女		
	1	9	6	2	1	0	1		14	6		
障害支援 区分別	区分6	区分5	区分 4	区分3	区分2	区分1	平均支援区分	未判定				
	0	0	5	6	4	0	3.1	5				
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複 所持	手帳 なし
	1級	2級	3級	4級	5級以上	A	B	1級	2級	3級		
	0	0	0	0	0	11	8	0	1	0	0	0

### 4. 就労支援事業：全体

（単位：円）

事 業	令和3年度収入	令和2年度収入	差 額
自主作業	483,540	360,817	122,723
受託作業	2,375,765	2,239,513	136,252
合 計	2,859,305	2,600,330	258,975

## ①自主作業

(単位:円)

作業種目	令和3年度収入	令和2年度収入	差 額
果 樹 園 芸	0	0	0
織 染 縫 製	483,540	360,817	122,723
合 計	483,540	360,817	122,723

## ②受託作業

(単位:円)

作業種目	令和3年度収入	令和2年度収入	差 額
農 場 整 備			
清 掃 作 業	2,375,765	2,239,513	136,252
下 請 作 業			
合 計	2,375,765	2,239,513	136,252

## 5. 工賃実績

(単位:円)

工 賃	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
総支給額	169,930	169,910	169,900	179,890	199,880	199,910	199,910	199,930	309,880	209,930	209,880	364,550	2,583,500	3,381,220
月額最高額	13,130	13,100	12,980	13,530	14,970	15,550	15,920	14,820	20,620	15,800	15,390	24,220	15,836	13,818
月額最低額	2,270	2,310	2,810	2,650	2,350	2,590	1,000	2,780	7,710	3,410	2,310	9,870	3,505	2,568
平均工賃月額	8,497	8,496	8,495	8,995	9,994	9,996	9,996	9,997	15,494	10,497	10,494	18,228	10,765	9,339

※令和3年12月は賞与(一律5,000円、¥100,000)、令和4年3月は年度末手当(一律5,000円、¥100,000)を含む。

※工賃支給対象者に、年度途中入所者、及び退所者、入院中の利用者も含む。

## 6. 生活支援

## (1) 茶話会

毎月1回、月末に工賃分配と誕生者にはプレゼントを渡し、お祝いました。

## (2) 社会活動

利用者が楽しく豊かに毎日を送ることができるように、特に土曜日を利用して社会資源の見学やレクリエーション、ボランティアなどの活動予定であったが、コロナ禍のために実施ができなかった。恒例の社会体験旅行も中止し、代わりに事業所内でお楽しみ食事を催した。

7. 災害防止対策、交通安全・防犯講習

実施日	訓練種目	参加者	発生時刻	内 容
令和3年 8/12 (木)	防犯訓練	利用者 17名 職員 5名 22名	9時15分	コロナ禍のため、浜松市中央警察署生活安全課による講習を取り止め、職員が防犯に関する講習を企画。主には、Youtube 動画を利用して不審者から身を守る訓練動画を視聴した。
8/12 (木)	交通安全講習	利用者 17名 職員 5名 22名	10時30分	コロナ禍のため、浜松市中央警察署交通安全指導課による講習を取り止め、職員が交通安全に関する講習を行った。Youtube 動画を利用して、交通安全教育クイズや事故発生の動画を視聴した。
11/11 (木)	防災訓練 地震・火災 ・避難	利用者 17名 職員 5名 22名	12時50分	12:50 に日本シェイクアウト提唱会議の訓練音源を使って地震の発生を知らせた。12:52 に2階作業室エアコンから出火を想定し訓練実施。避難後は、防災器具庫の整理を行い、備蓄品の賞味期限を確認した。
	情報伝達訓練		13時30分	終了後に中消防署へ伝達訓練、市へ実施報告をメール送信した。
令和4年 3/17 (木)	避難訓練 地震・火災 ・避難	利用者 17名 職員 5名 22名	9時10分	9:10 に日本シェイクアウト提唱会議の訓練音源を使って地震の発生を知らせた。事前に段ボール箱を家具や電化製品に見立て、机上で揺らし倒れる模擬体験をした。また、ある利用者には、開始直前に消灯することで、こだわりなく落ち着いて行動ができた。

8. 福祉施設実習及び産業現場等における実習

実習の受入れは浜松特別支援学校、浜北特別支援学校の2校であった。

月	来客者数		見学者数		実習者数		ボランティア数		備考
	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和元年度	令和3年度	令和2年度	
4	24	10	2	3	0	0	3	0	
5	13	17	0	1	0	0	6	0	
6	47	20	0	1	10	2	4	2	
7	16	20	4	3	0	0	5	6	
8	15	14	2	4	0	0	4	2	
9	14	16	0	1	0	0	2	4	
10	16	22	5	3	0	8	1	3	
11	28	19	0	2	0	0	4	5	
12	22	20	5	2	7	6	4	2	
1	13	13	0	0	0	1	4	2	
2	21	17	1	0	0	0	4	4	
3	20	6	6	4	0	0	4	4	
計	249	194	25	24	17	17	45	34	

まつかさ中期経営計画（別紙）

視点	2021年度の行動計画	進捗状況	備考（考察、次年度の予定）
利用者の視点	<p>① 利用者工賃は平均月額で13,500円が目標。</p> <p>② トイレ増設の計画図面や見積もりを確保し、助成事業への申請を行う。</p>	<p>×</p> <p>○</p>	<p>・一昨年来コロナ禍が続き、新しい受託先の開拓努力はしたものの実を結ばなかった。平均工賃は10,765円と前年の9,339円から上昇したものの、目標には及ばなかった。今後、複数の受託作業の獲得と自主製品の販売を強化し、次年度は計画通りの14,000円を目指す。</p> <p>・清水基金に助成申請を行い、助成決定を受けることができた。次年度中に工事着工し、年内の完成予定で進める。</p>
財務の視点	<p>① 利用者数を22名、利用率95%を目指す。</p> <p>② 新型コロナウイルス感染症対策を継続</p> <p>③ 老朽化した車両1台をリース契約に替える</p>	<p>×</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>・コロナ禍で見学・実習ができない状況で現状20名に留まった。昨年11月通知の浜松市からの定員遵守の通達もあり、今後の方針については、早期に協議し進める。数値については一旦保留。</p> <p>・昨年から続いて必要な感染対策を継続した。まん延防止等重点措置発令期間等に在宅就労の希望がある利用者には実施した。</p> <p>・18年使用した車両をリース車に変更した。課題は達成。</p>
業務の視点	<p>① 業務の分掌化、記録の見直し等を行う。</p> <p>② 防犯マニュアルの作成</p> <p>③ PP製品の新品を開発する。</p>	<p>△</p> <p>×</p> <p>○</p>	<p>・分掌化は例年通りに行ったが記録方法の見直しは十分にできなかった。今後実施していく。</p> <p>・防犯マニュアルの作成については、取り掛かることができず進展しなかった。今後は進める。</p> <p>・新たにミニサイズの製品やPPマットから派生した製品を開発。今後、まつかさオリジナルの第2ブランドとして取り組んでいく。</p>
人材の視点	<p>① スタッフの資質向上</p> <p>② 職員交流に向けての交流研修を行う。</p> <p>③ ボランティアを受け入れる。延べ40人が目標</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>・コロナ禍にあって外部研修が受講できない状況にあるため、オンライン型研修であるサポカレを契約し受講に努めたことでスキルアップができた。次年度も契約を継続し、資質向上を図る。</p> <p>・オンライン研修を使つての小グループでのテーマ別研修を企画し、事業所間の交流が図れた。次年度も継続する。</p> <p>・コロナ禍であり新しいボランティアの構築はできなかったが、資源物の持ち込みや施設の環境整備に協力があった。のべ45人で、次年度は60人が目標。</p>



## V やしま (共同生活援助：グループホーム)

### 1. 施設運営

- ・個別支援計画に基づいて利用者一人一人の希望や思いに寄り添い、心身共に安定した日々の生活の充実を図った。
- ・地域の一員として奉仕活動・防災訓練等、各種活動に参加し社会的マナーやルールを身につけ、自立した生活に向けて総合的な支援を行なった。

### 2. 中期経営計画 (別紙)

### 3. 施設利用状況

#### (1) 共同生活援助 (令和3年定員7名)

項 目		単位	令和3年度 実績	令和2.年度 7~3月 実績	令和2.年度 4~6月 実績
施設利用状況	開所日数	日	365	274	91
	契約者数	人	7	7	3
	延べ人数	人	2404	1,783	271
	1日平均		6.5	6.5	3
	利 用 率	%	94	93	75

#### ・利用者の状況 (令和4年3月31日現在)

地 域 別	浜 松 市							磐田市	掛川市	湖西市	合 計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区					
	2	0	3	2	0	0	0	0	0	0	7	
年 齢 別	18歳 ~19歳	20歳 ~29歳	30歳 ~39歳	40歳 ~49歳	50歳 ~59歳	60歳 ~64歳	65歳 以上	性別	男	女		
		1	1	2	1	1	1		7	0		
障害支援 区 分 別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均支援区分	未判定				
	0	0	4	3	0	0	3.57	0				
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複 所持	手帳 なし
	1級	2級	3級	4級	5級以上	A	B	1級	2級	3級		
	0	0	0	0	0	5	2	0	0	0	0	0

#### (2) 短期入所 (定員1名) (令和2年8月1日より事業開始)

項 目		単位	令和3年度 実績	令和2.年度 8月1日~ 実績
施設利用状況	開所日数	日	365	243
	契約者数	人	19	19
	延べ人数	人	595	306
	稼働日数		342	162
	稼 働 率	%	93.6	67

・契約者の状況 (令和4年3月31日現在)

地域別	浜松市							磐田市	掛川市	湖西市	合計			
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区				性別	男	女	重複所持
	4	1	5	7	0	0	0	1	0	1				
年齢別	18歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 以上							
	0	6	9	3	1	0	0							
障害支援 区分別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均支援区分	未判定						
	6	1	6	3	3	0	4.21	0						
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳						
	1級	2級	3級	4級	5級以上	A	B	1級	2級	3級				
	1	0	0	0	0	17	2	0	0	1	2	0		

4. 支援内容

(1) 日常生活動作支援

食事、排泄、入浴、洗濯、清掃、身だしなみを整える等、手際の良い身辺処理ができるよう支援した。

(2) 余暇活動の支援

コロナ渦であり、外出・外食等の活動は控えることとなり、寮内での活動を中心にレクリエーション、身体活動、創作活動等、ご本人の希望をうかがいながら、出来る限りの支援を行った。

(3) 健康管理

内科・外科・歯科への通院の支援を行った。また、定期的に歯みがき支援や服薬管理を行った。

毎日朝夕の検温、お茶のうがいや手洗い及び手指の消毒の徹底等、インフルエンザの予防や新型コロナウイルス感染症防止対策を行なった。

(4) 菜園管理

野菜の栽培や収穫を体験し、料理に活用する等して菜園での活動を楽しんだ。

5. 災害防止対策

実施日	訓練種目	参加者	発生時刻	内容
令和3年 4/30 (金)	火災避難 訓練	利用者 7名 職員 4名 11名	6時00分	2階物置から火災が発生を想定。非常時の放送と口頭での呼びかけを行う。野外へ避難する。

実施日	訓練種目	参加者	発生時刻	内 容
令和3年 7/14 (金)	火災消火 非難訓練	利用者 7名 職員 4名 11名	17時00分	台所から火災発生。消火器にて模擬消火に当たる。利用者は退室し野外へ避難する。
11/1 (月)	地震・火災 消火訓練	利用者 8名 職員 3名 11名	18時00分	遠州灘沖で震度7の地震発生に伴い火災発生を想定。消防署への通報・消火訓練（模擬）を行う。
12/6 (土)	火災・消火 避難訓練	利用者 8名 職員 3名 11名	17時00分	台所より火災発生を想定。自動火災報知機が作動。利用者の避難指示を出し、初期消火に当たる。
令和4年 1/27 (土)	不審者 防犯訓 練	利用者 8名 職員 4名 12名	6時00分	やしまの出入り口に不審者がいる事を確認し侵入するという想定で行った。西警察署に通報し指示を仰ぐ（模擬）。

## 6. その他

- ①個別支援計画について、本人との面談を随時行う。また、3ヶ月毎に支援会議を行う。
- ②虐待防止についてチェックリストを活用した。
- ③新型コロナウイルス感染症防止対策として、これまでのうがい手洗い、手指の消毒以外に換気や室内へのウイルス除去スプレーの散布等、万全の体制を整えて支援した。

## VI あかね（共同生活援助：グループホーム、短期入所：ショートステイ）

### 1. 施設運営

#### ・共同生活援助事業

知的な障害者に対して「住まいの場」を提供し、自立に向けた必要な技能や地域の中で生活していく為のルール等、総合的支援を行った。

また、利用者さんの思いによりそい、より個別化した支援が行えるよう努力した。相談支援事業所とも密接な連携を取りながら、利用者の意思決定を大切に生活の充実を図った。

#### ・短期入所事業

家庭のレスパイト支援を優先し、自宅での生活が一時困難になった利用者が快適に過ごせるよう、食事の提供、入浴支援等を行った。また共同生活援助事業の利用者と気持ちよく過ごせるようコミュニケーションの疎通を図り、滞在する利用者個々の要望に沿った支援を行った。

### 2. 中期経営計画（別紙）

### 3. 施設利用状況

#### （1）共同生活援助（定員7名）

項 目		単位	令和3年度 実績	令和2年度 実績	令和元年度 実績
施設利用状況	開所日数	日	366	365	365
	契約者数	人	7	7	7
	延べ人数	人	2,440	2,449	2,445
	1日平均		6.6	6.7	6.7
利 用 率	%	95.2	95.8	95.4	

#### ・利用者の状況（令和4年3月31日現在）

地域別	浜 松 市							磐田市	掛川市	湖西市	合 計		
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区				重複所持	手帳なし	
	1	1	1	0	3	1	0	0	0	0	7		
年 齢 別	18歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 以上	性別	男	女			
	0	1	1	2	1	1	1		0	7			
障害支援 区 分 別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均支援区分	未判定					
	0	1	5	1	0	0	4.0	0					
手帳所持別	身体障害者手帳				療育手帳		精神障害者保健福祉手帳						
	1級	2級	3級	4級	5級以上	A	B	1級	2級	3級	1	0	
	0	0	0	0	0	5	2	0	0	1			

#### （2）短期入所（定員1名）

項 目		単位	令和3年度 実績	令和2年度 実績	令和元年度 実績
施設利用状況	開所日数	日	366	365	365
	延べ利用者数	人	450	409	490
	稼働日数	人	328	300	269
	利 用 率	%	89.6	82.1	73.4

・利用者の状況 (令和4年3月現在)

地域別	浜松市							磐田市	掛川市	湖西市	合計	
	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区				重複所持	手帳なし
	2	4	2	3	3	0	0	0	0	1	利用実人員 17	
年齢別	18歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 以上	性別	男	女		
	0	5	7	3	0	2	0		8	9		
障害支援 区分別	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	平均支援区分	未判定				
	0	2	7	4	4	0	3.4	0				
手帳所持別	身体障害者手帳					療育手帳		精神障害者保健福祉手帳			重複 所持	手帳 なし
	1級	2級	3級	4級	5級以下	A	B	1級	2級	3級		
	0	0	0	0	0	14	3					

4. 支援内容

(1) 日常生活動作支援

食事、排泄、入浴、洗濯、清掃、身だしなみを整える等、手際の良い身辺処理ができるよう支援した。また、夜間の不眠者に対し、医療面の対応と同時に本人の気持ちに寄り添う支援を行った。

(2) 余暇活動の支援

休日には、市内の公園の散策、買い物支援等を行い、余暇時間の充実を図った。コロナ禍の中、地域で開催される行事の中止が多い中、法人のイベント等の外出の際のマナーやルールについて支援した。室内では料理やレクリエーション等の楽しみをもった活動を支援した。

〈あかね支援活動〉

活動名	実施回数	活動内容
レストランの日	1回	市内のレストランにて外食等は控え、1回のみ。
市内散策	6回	浜名湖ガーデンパーク、浜松市動物園、図書館、フルーツパークイルミネーション、都田運動公園、龍潭寺等。
年中行事	11回	入所利用者の誕生祝い、クリスマス会 他。
地域の行事参加	0回	百園自治会夏祭り、(福)和光会夏祭り等は中止。
販売会见学	1回	四季彩堂販売会见学。
移動支援	43回	移動支援サービスを利用し、外出する(1名)
買い物支援	月1～2回	随時買い物に同行する
料理	10回	焼きそば、お好み焼やサラダ、バーベキュー、鍋料理、デザート作り等を楽しむ。
散歩・園芸	毎週末	近隣の散歩、プランターへの灌水、生け花
一人での外出	月1～2回	一人で路線バスを利用し、買い物、美容院等

共同生活をする仲間として、お互いを思いやる気持ちを大事にし、仲間意識を持てるようお互いが役割を持って参加し楽しめるよう支援を行った。

### (3) 健康管理

内科・歯科・皮膚科・神経科・耳鼻科への通院の支援を行った。3回のコロナワクチン接種を受けた。また定期的に歯みがき支援や治療のための支援を行った。

帰宅後のお茶のうがいや手洗いの徹底をはかり、感染症等の予防を行った。

### 5. 災害防災対策

避難訓練を行った。

実施日	訓練種目	参加者	発生時刻	内 容
令和3年 7/17 (土)	火災・避難	利用者 6名 職員 3名 その他 1名 10名	18時45分	夕食後に館内放送で201号室より火災発生を知らせた。煙が充満している為マスクやハンカチで口を覆い駐車場に避難を完了した。その後、消火器の点検を行った。
9/5 (日)	地震・避難	利用者 6名 職員 2名 その他 0名 8名	9時50分	館内放送で地震発生の場合の合図を行い、テーブルの下に隠れた。揺れが収まってからヘルメットを着用し駐車場へ避難した。全員の無事を確認してから地域避難所の百里会館に移動し避難を完了した。その後、カセットコンロを使い防災食を作った。
令和4年 1/16 (日)	地震・避難	利用者 6名 職員 3名 9名	15時35分	館内放送で地震発生の場合の合図を行い、机の下やトイレなどに隠れるように指示をした。揺れが収まってからヘルメットを着用し駐車場への避難を完了した。
3/8 (火)	火災・通報	利用者 7名 職員 3名 ショート 1名 11名	17時00分	一階浴室より火災が発生したことを想定して消防署に通報を行った。
3/8 (火)	火災・避難	利用者 7名 職員 3名 その他 1名 11名	17時31分	一階浴室より火災発生したことを館内放送で知らせ避難を開始した。上靴のまま煙を吸わないようにマスクやハンカチで口を覆い駐車場に避難した。車椅子の方は介助した。